

漁師の ワンダーランドを創る

バリバリ……と耳をつんざく爆音を立てながら船の切っ先が海を切り裂くように進む。船の両側に白波が高く立ち上る。示し合わせたように小さな船が次から次へと冬の日本海に飛び出していく。出航して5分も経たないうちに大きく船が揺れ始め、立っていることが難しくなる。一定の周期で左から右へ波が来たかと思うと思わぬタイミングで突如的なのわりが生じ、バランスを崩す。少しでも次の波を予測しようと、海から目が離せない。

操縦棒を手に、海水で濡れた甲板に仁王立ちになっている男は遠くを見つめ、船底の揺れに全く動じない。振り落とされまいと船にしがみつきながら男の機子にじっと目を凝らすと、波が来るたびに微妙に体重を左右に移動させ、その揺れを吸収していた。男の名は古川（こがわ）広志（54）。この道36年の身体が成せる技だ。夜明けとともに

に出航した船はすっぱりと朝焼けのオレンジ色に抱かれてしまった。西の空高くにはまだ白い月が残り、東には山頂に雪を被った岩木山が鎮座している。美しい景色に心を奪われていると、急に船底がグワッと沈み、行き場を失った自分の重力に振り回される。一寸先は冷たい海。顔を上げると視界から他の船は消えていた。息をのむほどの美しさと、背筋が寒くなるほどの恐怖が同時に体を包んだ。

底建て網

冬、北西から吹きつける強い季節風のせいで時化（しけ）が続き、1週間に1~2回しか漁に出られない。予定していた取材日には風速12mの風が予想され、なんとか出航できそうな前日に前倒しにして取材に挑んだ。船を走らせること20分、エンジン音が突然切れ、急停止するように漁場に到

着した。海からロープを引き上げ、船の前後の一つずつある巻上機にそれぞれ巻きつけて、ぐわんぐわんという音とともにロープを巻き上げる。10分後、何も見えなかった海面にようやく赤い網が姿を現した。さらに網の両端のロープを巻き上げるにつれ、網がスズルと船上を横断していく。網と海の間に船はすっきり挟まれてしまった。私は船の先端が後端のわずかなスペースに身体を押し込めていなければいけなかった。船いっぱいになり網が広がった様は、まるで船が海の一部になってしまったかのようだ。

網にはところどころ小さなアジが突き刺さっているが、すでに頭がもげ、赤いエラがのぞいている。網にかかった魚が逃げられずに絶命しているのだ。それを狙うカメラがどこからともなく集まってきて、物欲しそうに鳴いている。しばらくすると突状

になった美しい網が見れる。ここに魚が追いつまれている。網を船上に手繰り寄せ、先端についたジッパーを開くと、パタパタと甲板に魚が落ちた。白黒の縞模様をまとったシマダイ、体長10cmほどの小さなアジ、そしてまさに馬面と呼ぶにふさわしい、長い顔が特徴的なツマヅラハギ……。

「底建て網」と呼ばれるこの漁法は昭和初期に、ここ深浦町で始まった。津軽暖流の影響で潮の流れが非常に速いのが特徴で、海中に仕掛けた網が破れるリスクが高い。そのため、海の中でも潮の流れが比較的緩やかな海底のみに網を張る漁法が発明されたのだ。時化と時化のわずかな間を狙って、深浦の漁師たちは海に飛び出していく。それでも、彼らは冬を心待ちにしている。なぜなら12月から4月のわずか4ヶ月の間に一年の漁獲量の3分の2を水揚げするからだ。

夏枯れと出稼ぎ

事前取材に訪れたこの夏、私は嬉々としてカメラを首によら下げて乗船したが、あまりの揺れにシャッターを一回も切る事なしに帰港した。船酔いをする暇もないほど船は揺れたが、そんな思いをして獲れた魚はわずか10尾ほどだった。夏の深浦の海はほとんど魚が取れない「夏枯れ」という状態になる。それでも昔は、冬の間の漁だけで一年間生活できた。しかし近年、漁獲量の減少と魚価の低迷により冬の審えだけでは生活が成り立たなくなっている。今では漁師の40%以上が春から秋にかけての半年間、出稼ぎに行かざるをえない状況に陥っている。そんな中、「ここで、漁師で、生きていく」と決意を同じくして集まった5人の漁師たち「津軽西海岸・竜志会」が今回の主役だ。

漁業嫌いの漁師

竜志会の立役者、古川さんのことを知るきっかけとなったのは彼のブログ、「ただの漁師ではねえと!」だった。ブログのタイトルそのままに、彼は漁師という枠を超えて次々と新しいことに挑戦してきた。漁師の3代目として生まれ、小学生のころから漁の手伝いをしてきた。やりたくないのにやらされていたから漁業は嫌いだだったが、当時は世の中も魚もバブル。よく獲れてよく売れたので、悪い仕事ではないと思った。高校を出てすぐに父の船に乗ったが、理由もなく怒る父に嫌気がさし、いつか辞めてやると思ふばかりこぼしていた。

11
月
9°C
27
日



【青森県深浦町北金ヶ沢】

文=成影 沙紀、高橋 博之 写真=玉利 康延、小野 悠介

特集
馬面剝